



林 声

2017

9 月号



株式会社山科林業（赤磐市）の山科良平（やましな りょうへい）さん（写真左端）と作業員の皆さん。高所作業車を使って、送電線等の線下伐採や支障木伐採に取り組まれています。（詳細はP 2に記載）

目 次

岡山・森林列伝		林産物市況	11
（株式会社山科林業 山科 良平さん）	2	事務局からのお知らせ	13
がんばる認定事業体（木原造林株式会社）	3	森林・林業施設の紹介	
普及指導区の情報（倉敷支部）	4	（かがみの中央こども園）	14
ニューフェイスです（平元 亨樹さん）	5		
岡山県林業研究グループ交換研修大会	6		
平成29年度林業普及指導員等中央研修	7		
研究だより（森林研究所木材加工研究室）	8		
コンテナ苗の紹介	9		
イベント情報	10		

【ぼっけ〜木になる情報】

Q. 自分の森林を伐採しようと思います。どんな手続きが必要でしょうか？

岡山県マスコット
（ももっち・うらっち）



岡山・森林列伝

【東備普及指導区】



赤磐市に事務所を構える株式会社山科林業の若き社長である山科良平さん（37歳）と、平均年齢35.4歳とこちらも若い作業員の皆さんをご紹介します。

一 起業のきっかけ

山科さんは特殊伐採専門の林業会社で5〜6年、現場責任者として従事した後、独立を思い立ちました。平成25年8月に創業、平成28年に法人化し、現在では役員2名で、従業員6名を抱える会社に成長しています。

業務内容は、主に配電線等の線下伐採や支障木伐採、草刈り等で、県内全域を営業範囲としているということです。

取材した日も、真夏の炎天下の中、高所作業車を使って樹高約30mの支障木伐採をされていました。交通量が少なくない県道と市道が交差する一角での作業は、車の往来があるたびに作業を中断し、作業車のアームを移動させて通行の安全を確保するなど、細やかな気配りが随所に見受けられました。



高所作業車による伐採作業
山科社長(手前)が細かく指示を出します

二 仕事へのこだわり

今までで一番苦労した作業は、周囲に墓地と高圧線がある場所、直径約1.2m、樹高約20mのケヤキを伐採した現場だったそうです。ラフタークレーンで幹を吊りながら2日ばかりで伐採したとのことですが、作業に入るまでに何度も下見をして使用機械を選定し、作業手順のイメージトレーニングに1ヶ月を費やしたそうです。

作業にあたっては、この様に事前準備を入念に行い、当日は作業前に危険予知活動で作業員全員と作業手順を確認します。実際に樹上に上がると、下見で想定した状況とは異なることも多いとのこと。その場合は即座に手順等を見直し指示を出し、作業終了後には全

員でその日の反省と翌日の段取りを確認するそうです。

新入社員の教育では、最初の1年間は社長の作業を見て覚えさせ、その後の半年で社長と一緒に作業を実践して、樹上作業に慣れさせるようにしています。自分の身を守る安全帯、保護帽、安全ロープ、昇柱器等の装具は各自で責任を持って管理させるとともに、安全作業について常にやかましく言っているとのこと。



樹上伐採の様子

仕事へのこだわりは「速くやつて早く帰る」と笑いながらおっしゃっていました。山科さんの言葉には入念な準備と丁寧で安全な作業の裏付けがあつてこそだと、お話を聞いて実感しました。

作業員の皆さんにもお聞きしたところ、「危険な作業だけれど、その分やりがいを感じる。」「仕事は丁寧にする。それが会社のPRになって、次に繋がると思う。」など

の返事が返ってきました。作業中は緊張感がこちらにも伝わるほどでしたが、休憩中の彼らは笑顔で和気あいあいと雑談に花を咲かせていました。



樹上伐採で使用する軽量な
トップハンドルチェーンソー

三 今後の目標

現在、森林組合等からの下請けで切捨間伐も行っており、今後は高性能林業機械を導入して、搬出間伐に取り組みたいと山科さんは力強く語ってくださいました。

特殊な伐採作業により、配電線等のライフラインや住民の安全な暮らしを日々守っている頼もしい彼らが、林業の新たな担い手として活躍されることを期待し、東備普及指導区としても支援していきたいと考えています。

(林業普及指導員 掛屋 昴則)

がんばる認定事業者

木原造林株式会社

勝英事業所の紹介

【勝英普及指導区】



一 はじめに

木原造林株式会社は大正13年に創業し、全国に約2万鈔の森林を所有しています。社有林では一般社団法人緑の循環認証会議（SGEC）の森林認証を取得し、森林の多面的機能を発揮させるため整備を進めています。

会社は東京を拠点として、愛知県など9県に事業所が配置され、岡山県には勝英事業所（西粟倉村）と、加茂事業所（津山市）が置かれています。事業所では社有林の整備に加え、美作地域の森林において、請負による独自の一貫体制で素材生産を行っています。

今回は勝英事業所の高田登志夫係長（46歳）から事業内容のお話を伺いました。

二 勝英事業所の概要

勝英事業所は加茂事業所と併せ12名の職員（うち現場作業員9名）

で年間約2,500立方メートルの素材生産と、地域の下刈や伐採作業を行っています。



搬出間伐（素材生産）の状況

現在の素材生産では1日1人当たり4立方メートルの労働生産性となっていますが、今後はウインチ付きグラップルを導入し、伐倒・集材・造材を5名で行う2班体制により、年間4,400立方メートルの素材生産を目標としています。

三 記念市の開催

木原造林株式会社では毎年秋に「優良材特別記念市」を三重県のウッドピア松坂で開催しており、全国の銘木店や製材所から高い評価を受けています。今年は10月28

日（土）に開催されます。全国から5,500立方メートルの出荷を見込んでいます。



西粟倉村から出荷予定の山林【目通り95cmのモミと70年生のヒノキ】

四 温室効果ガス排出削減・吸収プロジェクト

国内における自主的な温室効果ガス排出削減・吸収プロジェクト（オフセット・クレジット）の実施者として、環境省によるカーボン・オフセットの基準に基づき、平成

23年に社有林416鈔が承認され、CO₂吸収量8,000tを達成しています。

また、クレジットの売却による森林整備の資金確保も可能となり、近年では菓子メーカーのカルビーの出資会社であるカルネコ株式会社とCO₂17t削減の契約を締結したところです。



指導員による安全指導【指差し呼称】

五 終わりに

木原造林株式会社はフォレストワーカーなどの技能者の育成や、労働災害の防止へ積極的に取り組んでいます。担い手の育成・確保を図りながら、美作地域の森林整備が進むことに期待しています。

（林業普及指導員 小倉 浩一）

普及指導区の情報

「倉敷地域森づくりの会」の
森林整備ボランティア活動
【倉敷普及指導区】

一 はじめに

倉敷普及指導区は、県南部のマツ林、広葉樹林、竹林等を主体とした里山地域が多く、里山林との関わりの中で多くの森林ボランティア団体が活動しています。

二 概要

今回紹介する「倉敷地域森づくりの会（笹田富夫会長）」は、平成7年8月に設立され、倉敷と真備の2カ所の美しい森を中心に県民参加の森づくり活動を行ってきました。



真備美しい森 竹林整備
(H28. 6.28)

平成22年に現在の団体名に改称するとともに、県南の森林組合では、「森林の公益的機能の普及啓発は重要な責務」との思いから、備中南森林組合総社支所が事務局を引き継ぎ、小学校、企業及び行政等の25団体と、15名の個人会員よる地域に密着した活動を行っています。

また、平成23年度からは総社市下倉地内の共有林を、平成24年度



木戸・塩田共有林 枝打ち
(H28.10.22)

からは倉敷市酒津の財産区有林を、新たなフィールドとしてさらに活発に活動しています。

三 活動内容

「倉敷地域森づくりの会」の主な活動を紹介いたします。

①「おかやま森づくりサポートセンター」の委託事業や補助事業を活用して、参加者を公募する森林ボランティア活動を年間5回程度開催しています。

②倉敷地域の企業など各種団体の要請に応じて、森林ボランティア活動の支援を積極的に行っています。

③岡山県総合教育センターからの依頼を受け、例年、教員初任者研修の実施に協力をしています。



教員初任者研修 講義
(H28.11.10)

四 今後の予定

なお、今後、本年度中に参加者を公募する森林ボランティア活動は次のとおりです。

皆様の参加をお待ちしております。

今後の森林ボランティア活動

○平成29年10月21日（土）
総社市下倉

ヒノキ林の除伐・枝打

シイタケほだ木の管理、

シイタケ採取

○12月9日（土）

倉敷市酒津

除伐、植樹

○平成30年1月20日（土）

真備美しい森

竹林整備（竹チップ化作業）

クリ植栽地草刈

遊歩道整備

参加者募集中！

森林整備ボランティアに
参加してみませんか。

倉敷地域森づくりの会事務局
☎0866（92）5600

五 おわりに

当普及指導区では、「倉敷地域森づくりの会」が地域の森林ボランティア活動の推進役として、さらに活発に活動が行われるよう支援していきたいと考えています。

（林業普及指導員 花田 智雄）

ニューフェイスです

★ 真庭森林組合

平元 ひらもと 亨樹 なおき さん (31歳)



今回は、真庭森林組合新庄支所の直営班に勤務されて3年目の、平元亨樹さんを紹介します。

一 経歴

平元さんは旧勝山町生まれですが、小学校の時に旧大佐町に移り、大学時代は福岡で過ごされました。卒業後は新見市に戻り市議会議員秘書を経験された後、母親の故郷である新庄村で生活することになり、道の駅への勤めや、新見市内の病院で事務をされていたそうです。

二 就職のきっかけ

新庄村に住み始めてからは、趣味の野球で村内の社会人チームへ所属し、また消防団活動や地域の

祭りなどにも積極的に参加され、地元の方との交流の機会が多かったそうです。

その野球チームの中にフォレストの方が複数いて、話を聞いてもらううち森林組合で働きたいと思いましたが、当時は募集がなく、仕方なく新見市内まで新庄村から1時間以上かけて通勤していたそうです。

平元さんには4人のお子さんがいらっしゃるのですが、病院事務は帰宅時間が遅くなることが多く、お子さんとの時間がなかなかとれないことが悩みだったそうです。

その後、4年程してフォレストの募集があり、平成27年4月から森林組合に勤務しております。

三 現在の仕事内容

平元さんは現在、直営班の班員として30代の班員2人とともに作業をされています。採用が決まると事前に、チェーンソーと刈払機の講習を受け、採用直後から現場で伐倒作業をされたそうです。

平成27年6月からは緑の雇用事業支援を受け、研修や資格取得に取り組んでおられます。

また、大型、大型特殊運転免許も取得されており、運材の仕事も

できるそうです。その資格を活用して冬の積雪で山仕事ができない時には、木の除雪作業もできると考えられています。



集材作業をする平元さん

森林組合の松本支所長は「何でもできるのでいろいろ頼みやすく、大変助かっている。将来は他の者の指導もできるよう期待している」と話しておられました。

四 仕事の感想

平元さんが林業に興味をもったきっかけは、平元さんの生まれた年に祖父が植林した山が、祖父が亡くなって以来手つかずとなり、これをどうにかしたい、まずは森林組合で林業の勉強をしようとの思いがあったそうです。

実家の山林については、まだ手

を付けられていませんが、時間を作って自分の手で手入れをしたいとの強い思いを持たれています。

森林組合に入って、「最初は体力的にきつく、山を歩くだけでもしんどかったが、荒れた山が自分の手で綺麗になっていくのを見るのがうれしい」とおっしゃっていました。

最初、周りからは危険な仕事なので反対されたそうですが、「病院事務の時と比べて収入は減ったけど、子供と遊ぶ時間がとれ、晩ご飯も一緒に食べられることが一番うれしい」と今の仕事に満足されておられます。

五 今後について

将来は伐倒から高性能林業機械まで、一通り何でもこなせるようないろいろ勉強していきたいと話されています。

六 終わりに

新庄村ですつとこの仕事を続けたいと話す平元さん。大変な仕事ではありますが、自然に囲まれ、恵み多い環境で、お子さんの成長を糧に、さらにご活躍されますことを期待します。

(林業普及指導員 安東 誠)

**岡山県林業研究グループ
交換研修大会が
開催されました**

一 はじめに

岡山県林業改良普及協会専門部会の一大イベントでもある「岡山県林業研究グループ交換研修大会」が平成29年7月6日に、苫田郡鏡野町で開催されました。

本大会は、林研グループの情報交換を行うことで、県下の林研グループの資質の向上を図ることを目的としています。今回は、8グループ、50名の参加者があり、林研、行政、民間での取り組みなど、様々な情報交換ができました。

二 林研グループの活動発表

平成29年度は、鏡野町林業研究グループ連絡協議会 三木敬臣様から、「次世代に森林と林業を引継ぐために」と題して、発表がありました。

鏡野町地域では、従来から問題となっている、材価低迷や、担い手不足などによる、森林資源が十分に活用できていない課題解決のため、鏡野町森林づくり協議会を



設立し、官民一体となった取り組みについて、説明がありました。また、鏡野町林業研究グループ連絡協議会では、移住者への技術指導や、植樹のつどいによる他産業との交流イベントなど、次世代に森林と林業を引き継ぐための取り組みが積極的に行われ、県内林研グループの見本となる活動報告がありました。



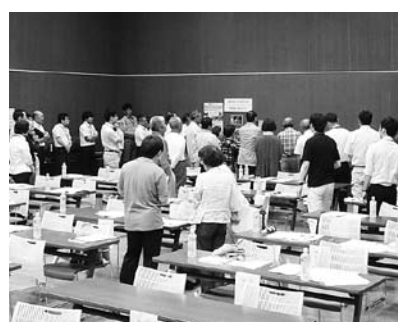
林研グループの活動発表状況

三 県外研修等受講者の報告等

平成28年度に全国各地で開催された研修内容等について、参加者3名から報告がありました。報告内容は、各林研グループが活動に活かせる事例ばかりでした。

また、林研グループの活動紹介では、各グループ代表者から、各地域の特色にあった様々な取り組みの紹介が行われました。

さらに、会場後方では女性林研グループが、薬草カレーを紹介したブースなどを設置し、展示内容の説明を行いました。



各林研グループ等活動紹介の状況

四 特別講演

本年度は、先進的な施策を展開している鏡野町の産業観光課長 藤田昭彦様と、木材の需要拡大に積極的な取り組みを行っている、株式会社津山総合木材市場 代表取締役 木下恒久様のお二方から、御講演がありました。

鏡野町から「鏡野町の森林・林業施策の紹介」と題して、新設された条例やドローンを活用した行旅施策などの紹介がありました。また、株式会社津山総合木材市場から、「韓国におけるアンテナショップ出店」と題して、韓国出店の経験から得た、海外と国内の

木材に対する考え方や価値観の違いから考える、輸出拡大への具体的な取り組みや、今後の展望などの説明がありました。

五 現地研修

平成29年4月に開園した鏡野町にある「かがみの中央こども園」を視察しました。本施設は町産材を利用し、構造材以外に内装材から遊具に至るまで、木材が使用され、鏡野町教育委員会やこども園の先生から、木材利用にあたってのコンセプトや、木造施設の良さなどの説明がありました。



かがみの中央こども園 (木材総使用量545.54㎡)

六 おわりに

本大会は年に一度の開催で、沢山の方が楽しみにしており、事務局では、今後も、みなさまの期待に添える企画にしたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願いたします。

(岡山県林業改良普及協会事務局)

平成29年度
林業普及指導員等
中央研修を開催

一 はじめに

この研修は、林業の普及活動に
対するニーズが多様化している中、
効果的な普及活動を進めるため、
林業普及指導員が一同に会し、普
及における課題の把握、研修・研
究報告による最新技術等の情報共
有及びグループ討議を通して林業
普及指導員の資質向上を図ること
を目的に実施しました。

今年度は平成29年8月3日（木）
に、ピユアリティまきび（岡山市）
で県林業関係職員50名が参加して
開催しましたので、その概要を報
告します。

二 中央研修の主な内容

(一) 課題把握

林業普及指導員として普及活動
に必要な知識及び向き合うべき課
題が多々ある中、今回は「林業の
担い手」を取り上げ、その動向や
それに対する国や県の対策、問題
解決に向けての手順等について理
解を深めました。

(二) 研究報告

研究員と林業普及指導員の情報
共有を目的に、農林水産総合セン

ター森林研究所の林業研究室から
研究報告がありました。また、そ
の他の研究成果についてはポス
ターセッションで活発な意見交換
が行われました。

① 林業研究室からの報告

「シカ侵入防止柵の管理方法の検
討」と題して三枝専門研究員から、
林内に設置された防止柵を有効に
活用するための、簡便で適正な管
理方法の検討内容について報告が
ありました。



農林水産総合センター森林研究所三枝専門研究員の研究報告を熱心に聞き入る林業普及指導員

② ポスターセッションのテーマ

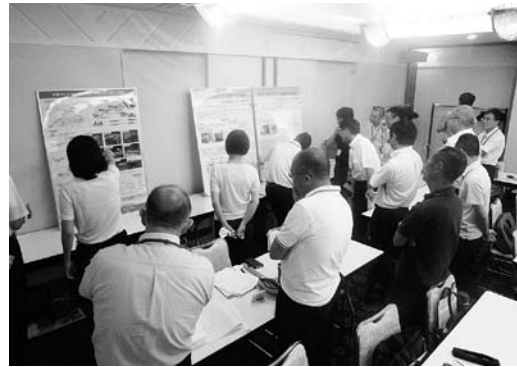
「倒木接種によるきこ栽培の実
用化」 藤原専門研究員
「カシナガラップによるナラ枯
れに強い林分への誘導」
三枝専門研究員

「CLTを使用した集合住宅にお

ける温熱環境の実態調査」

金田特別研究員

「木質バイオマス燃料の水分管理
方法に関する研究」
小川専門研究員



研究成果のポスター前で意見交換を行う
担当研究員と林業普及指導員

(三) 研修報告

農林水産総合センター普及推進
課林業普及推進班から現場指導者
育成対策事業の研修実施状況につ
いて報告がありました。林業労働
災害の発生率は全産業の平均の14
倍超が続いており、この異常な状
況を改善するため、現場の指導的
立場にある方を対象とした「伐採
技術等の教え方」を中心とした9
日間の研修の内容が紹介され、今
後の普及指導にあたっては①林業
労働災害の実態を認識、②安全装
備の徹底、③安全作業の基本、④

管理者への働きかけがポイントで
ある等を学ぶことができました。

(四) グループ討議

林業労働災害に関する知識を深
め、災害予防に向けた取組方法を
学び現場での実際の活動に結びつ
けるため、「林業労働災害予防の指
導演習」を実施しました。4つの
班に分かれて、指導前の準備、当
日の話し方や指導後のフォロー等
について各班ごとに検討し、結果
について発表を行いました。



林業労働災害の予防について、各個人の
意見を集約して班ごとの発表に向けて討議

三 おわりに

県では、今回の研修や森林経営・
施業技術・林産などの専門分野ご
とに行う研修などを通して、今後
も林業普及指導員の資質向上に努
めてまいります。

(林政課 普及指導班)

無垢内装材の吸放湿と寸法変化に及ぼす加工条件の影響

一 はじめに

木材の長所の一つに、調湿機能（吸放湿性）があります。一方、短所の一つに寸法変化があります。言うまでもなく、木材は吸放湿によって寸法変化を生じるので、用途に合わせて上手くバランスを取る加工方法を選択する必要があります。内装材の場合、寸法変化は隙間や浮上がり等の不具合として直接目に触れるため、特に気を使う必要があると言えます。

ここに、3種類の厚さ及び4種類の乾燥方法で含水率10%に調整した内装材試験体を吸放湿試験（温度23℃、相対湿度75%・12時間、相対湿度50%・12時間）に供し、各種試験体の吸放湿量とそれに伴う寸法変化を測定した結果を紹介します。

なお、図中の曲線は全て各種試験体3体の平均曲線を示します。

二 材料厚さの影響

内装材は床・壁・天井などで厚みが異なります。まず、この違い

が吸放湿や寸法変化に及ぼす影響を調査した結果を例示します。

乾燥条件が同じ場合、吸放湿量は異なる厚さの試験体間でほぼ変わりませんが（図1）、寸法変化率は試験体厚さが異なると大きく変化します（図2）。これは、吸放湿

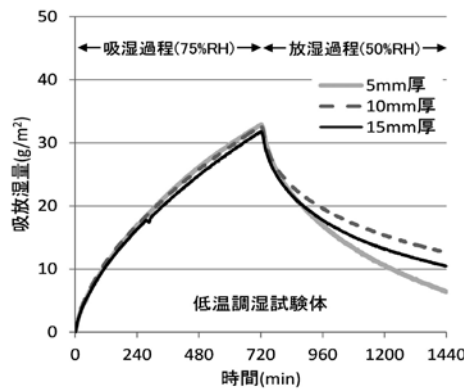


図1 材料厚さと吸放湿量の関係

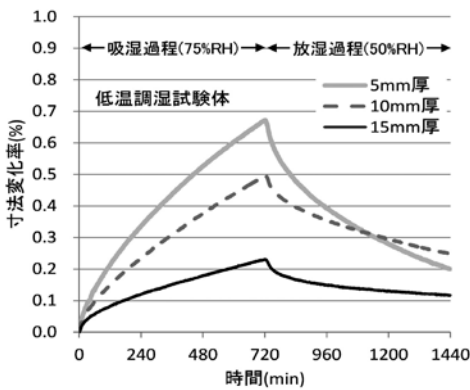


図2 材料厚さと寸法変化率の関係

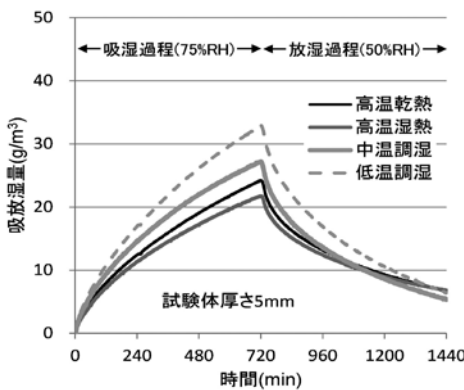


図3 乾燥条件と吸放湿量の関係

が表面から浅い部分で生じていることと、吸放湿に寄与しない内部を抑制していることを示しています。つまり、材料の厚さによって日常的な条件下における吸放湿量はあまり変わりませんが、寸法変

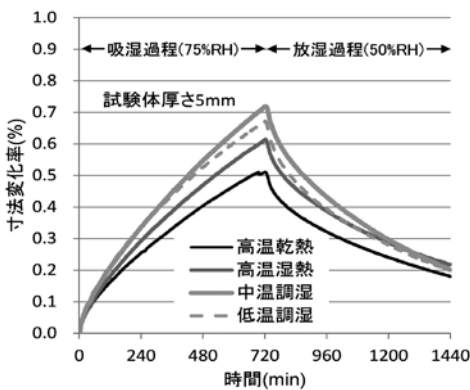


図4 乾燥条件と寸法変化率の関係

化を制御することが可能と考えられます。

三 乾燥方法の影響

一方、試験体厚さが同じ場合、低温（20℃）調湿と中温（60℃）調湿により乾燥された試験体に比較して、乾燥末期に短時間（1・3時間）、高温（120℃）処理した試験体の吸放湿量が小さくなりました（図3）。これに伴い寸法変化率も、低・中温調湿試験体に比較して、短時間の高温処理試験体で小さくなりました（図4）。つまり、乾燥条件によって木材表面の吸放湿性が変わるため、寸法変化を制御することが可能と考えられます。

四 その他

塗装もまた吸放湿量と寸法安定性に大きな影響を及ぼします。また材料の表面木取り（板目・柾目）が異なると寸法安定性が大きく変化します。これらについても分かりやすい実験結果がありますので、またの機会に紹介したいと思います。

（木材加工研究室
専門研究員 野上 英孝）

コンテナ苗の生育状況について



一 はじめに

県では、森林経営の集約化を図り、利用期を迎えている人工林の伐採と再造林の効率的な作業システムの構築や、未利用間伐材等のエネルギー利用を通じて、収益性の高い魅力ある林業を実現するための施策を推進しています。

このうち、再造林については、少花粉スギ等への植え替えに取り組み、低コスト化が期待できるコンテナ苗の生産・供給体制の整備を行い、中国地方一体となった広域での連携、普及推進を図ることとしています。

二 コンテナ苗の普及状況

コンテナ苗については、以前、本誌（2013年3月号）でも紹介しましたが、北欧を中心に1960年代から発達した技術で、根鉢が形成された専用のコンテナで育てられた苗です。

従来の苗木に比べ植え付け作業の省力化、植栽時期を選ばないことから作業の平準化が図られるな

どの利点があります。

県内のコンテナ苗の出荷は、平成24度から始まり、平成27年度は、山行苗69万6千本のうち、12万6千本と年々増加し、コンテナ苗の植栽地は着実に拡大しています。

三 コンテナ苗の生育状況

今後のコンテナ苗による低コスト造林の推進を目的に、県森林研究所では平成27年度から植栽木の生育状況を調査していますので、その状況をご紹介します。

調査は、平成26年10月～11月に植栽された国有林4箇所と真庭市有林で試験区を設定し、行われています。

① 平成27年度調査

植栽後1年経過時点の健全率（植栽木から先枯れ、折損、食害、枯損を除いた割合）は、表1のとおりであり、一部、樋谷山国有林では、先枯れが多く発生して健全率の割合が低い事例が確認されましたが、それ以外の試験区においては、いずれも85%を超え、高い健全率となっています。

また、国有林試験区以外の真庭市有林試験区（平成25年12月植栽）では、植栽後2年間で、既に平均樹高が1mを超えた調査区が確認されています。

② 平成28年度調査

植栽後2年目の枯損率（前年度の健全木に対する枯損木の割合）は樋谷山国有林を除き、最大でも16.2%に止まっています。

また、コンテナ苗の樹高成長は、樋谷山国有林以外の3試験区では、ほぼ1m以上に達しており、植栽1年目の樹高生長量に比べ、2年目の生長量がさらに増加していることも確認されています。

このように、コンテナ苗の生育は良好であり、作業の省力化や平準化が図られるコンテナ苗の造林は低コスト化の実現のためにも非常に有効な方法と考えられます。



コンテナ苗の生育状況

四 おわりに

今回の調査結果以外に、平成28年8月下旬に赤磐市暮田地内で、ヒノキコンテナ苗25本を植栽し、全てが活着した事例もあります。

今後、コンテナ苗による再造林を推進するに当たり、植栽方法、植栽時期による活着・生育状況等の把握を継続的に行い、幅広く情報収集し、提供していく予定です。

最後になりましたが、今後もこうした課題に対して、研修等を通じて普及指導活動の推進を行ってまいりますので、皆様方のご理解とご協力をお願いします。

（普及推進課 林業普及推進班）

表-1 苗木植栽後1年経過時点の健全率（H27.10月調査）

試験区	苗木種類	調査本数(本)	健全率(%)
高梁市 (佐与谷山国有林)	コンテナ苗	222	85.2
	普通苗	113	83.2
新見市 (樋谷山国有林)	コンテナ苗	176	39.7
	普通苗	174	65.5
新見市 (入開山国有林)	コンテナ苗	350	88.3
	普通苗	-	-
真庭市 (星山国有林)	コンテナ苗	545	87.9
	普通苗	-	-

森林・林業関係イベント参加募集

※詳細は申込先にお問い合わせください。

開催日	場 所	行事名称・内容	問合せ・申込先等
10.21 (土)	県森林研究所 「森の館」 (勝田郡勝央町)	秋の森林学習講座 樹木観察、岡山甘栗の収穫や試食、竹を使ったクラフト等	岡山県農林水産総合センター 森林研究所 TEL (0868) 38-3151
10.22 (日)	久米郡美咲町 江与味	ノリウツギ植栽&炭焼き見学 ・定員 先着20名 ・参加費 500円(昼食費込み)	伝統工芸木炭生産技術保存会 岡山市北区柳町2-1-1 TEL (070) 7560-2798
11.18 (土)	まなび広場にいみ 及び新見市役所 南庁舎一帯	わくわく産業ランド2017 in にいみ 林業PRブース、木工体験、林業就業 相談等	新見市商工観光課 TEL (0867) 72-6137
11.25 (土)	県森林研究所 木材加工研究室 (真庭市勝山)	秋の木材学習講座 木工体験(踏み台の作成)	岡山県農林水産総合センター 森林研究所木材加工研究室 TEL (0867) 44-3367
12.17 (日)	イオンモール倉敷 (倉敷市水江)	「来て!見て!触れて!おかやまのもつ と木のある暮らしセミナー&講演会」 ・埼玉大学教育学部教授 浅田茂裕氏に よるセミナー、基調講演会 ・木工クラフトコンテスト作品展示及び 表彰式	岡山県林政課普及指導班 TEL (086) 226-7451

技能講習会の開催 (10月~12月)

※詳細は申込先にお問い合わせください。

名 称	会場	日 程	申込・問合せ先
小型移動式クレーン運転	岡山	11月16、17日	(社) 岡山県労働基準協会 TEL (086) 225-3571
玉掛け(未経験者対象)	岡山	11月9、10日、12月7、8日	
	和気 笠岡	11月16、17日 10月19、20日	
刈払機作業従事者	和気	11月7日	
伐木(特別教育)	岡山	11月16、17日	キャタピラー教習所岡山教習センター TEL (086) 272-0001
	津山	11月28、29日、12月19、20日	
はい作業主任者	倉敷	11月8、9日	陸上貨物運送事業労働災害防止協会 岡山県支部 TEL (086) 234-1332



緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術援助
治山・林道の調査、測量、設計、積算
森林整備・森林公園の総合計画

一般社団法人 岡山県森林協会

岡山市中区高屋 225-1 TEL 086-271-3711
津山市二宮 1849-2 TEL 0868-28-9360



林産物市況



木 材 (8月30日)

単位：千円/㎡

樹種	長さ	径 級	直 材	小 曲 り	樹種	長さ	径 級	直 材	小 曲 り
杉	3 m	14~16	10.5	—	檜	3 m	14~16	19	15.5
		18~20	10	—			18~20	17	15.5
		22~28	12	10			22上	15	13.5
	4 m	18~22	10	—		4 m	14~18	18.5	16
		24~28	10	—			20~22	15	14.5
	6 m	16~18	15	—			24~28	16	14.5
松	3 m	18~22	10	8	6 m	16	18	—	
	4 m	18~22	10	8		18~20	28	—	

・出荷材積 約1,600㎡

(共販所より概況)

杉概況：

【3 m】

【4 m】

柱 材 横這い 中目材 横這い

中目材 横這い 元 木 横這い

松概況：—

檜概況：6 mは18cm以上の直材をお願いします。

【3 m】

【4 m】

柱 材 横這い 柱 材 横這い

中目材 横這い 中目材 横這い

元 木 横這い 元 木 横這い

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値。

製 材 (8月)

樹 種	寸 法	等級	区分	安 値 ~ 高 値 (円/㎡)
ス ギ	正角 3 m 10.5cm角	特等	K	50,000 (直送) ~ 58,000 (市場)
	正角 3 m 12cm角	特等	K	50,000 (直送) ~ 55,000 (市場)
ヒノキ	正角 3 m 10.5cm角	特等	K	60,000(背割有) ~ 65,000
	正角 3 m 12cm角	特等	K	55,000 (背割有・無) ~ 60,000
マ ッ	平角 4 m 10.5~12cm × 15~18cm	一等	K	75,000
米マツ	正角 3 m、4 m 10.5cm角	特等	G	54,000~56,000
	平角 3 m、4 m 10.5 × 15~21cm	特等	G	55,000~
北洋アカマツ	タルキ 4 m 3.8cm角	特等	K	70,000~75,000
ホワイトウッド	間柱 3 m 2.7cm × 10.5cm	特等	K	57,000~

注1：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。


注2：区分のKとは人工乾燥材、Gとは未乾燥材のこと。

日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。

間伐材利用植生基材マット	間伐材利用植生マット	間伐材利用生分解型植生マット	間伐材利用生分解型植生シート	間伐材利用植生シート
グリーンフォーマット 切土軟岩用	森樹郎マット 切土土砂用	森樹郎マット21 切土土砂用	張りウッド 盛土用	ハリシバモック 盛土用

岡山県エコ製品
NETIS登録：CB-010046-A 間伐材利用植生マット工法「森樹郎(シンキロウ)マット工法」

太陽と緑の国づくり
Nihon 日本植生株式会社
http://www.nihon-shokusei.co.jp/
津山支店 / 津山市高尾 573-1 TEL (0868) 28-0256
岡山事務所 / 岡山市北区芳賀 5325 TEL (086) 294-1000



緑あふれる環境づくり

株式会社 山都屋

本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号
TEL (086) 272-2161 FAX (086) 272-2142
http://www.yamatoya-net.com
大阪営業所 津山営業所 水島営業所

優良種菌で確かな収穫

もりのたねごま

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造 森産業株式会社
総発売元

岡山営業所 岡山市北区辰巳46-104
TEL 岡山(086)805-7033(代)

「緑の募金」 ご協力をお願いします

緑の募金でふせごう地球温暖化

募金期間
春のみどりの月間
4月1日～5月31日
秋のみどりの月間
10月1日～10月31日

口座振込はこちらへ


ゆうちょ銀行	01270-0-5225
中国銀行岡山駅前支店	1852041
トマト銀行岡山駅前支店	1027972

 寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。

公益社団法人 岡山県緑化推進協会
岡山市北区錦町1-8 TEL・FAX (086) 221-9511

【 特別共販日のご案内 】 岡山県森林組合連合会 **JForest**

開催日	特別共販名 (開催共販所)
10月17日 (火)	特別市 (勝山)
10月19日 (木)	加茂地区木材組合特別記念市 (津山)
10月20日 (金)	乾しいたけ入礼会 (岡山)
10月23日 (月)	新見地区木材まつり (新見)
11月10日 (金)	第29回岡山県民有林優良材展示コンクール (津山)



皆様の出荷を
お待ちしております!

林声

平成二十九年九月一日（第四五五号）
（隔月一日発行）

編集 岡山県林政課内 岡山県林業改良普及協会
発行 〒700-8750 岡山市北区内山下二一四一六



鏡野町が町内2番目の認定こども園として整備し、平成29年4月に開園しました。定員は150人で、木造平屋建ての園舎棟約1990平方メートルと野外倉庫棟、プール棟など延べ約2200平方メートルの施設です。鏡野町産材を545.5立方メートルを使用した木の香りと温かみあふれる園舎で、四季折々の鏡野町の美しい自然の姿を描いた14枚のステンドグラスを随所にあしらっています。

（津山普及指導区）

森林・林業施設の紹介

「かがみの中央こども園」



「もしも」に備えて・・・森林保険があります！

FOREST INSURANCE



森林保険

加入できる森林は？ 人の手が加わった森林
加入期間は？ 1年単位で何年でも！
保険金がでるのは？

火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。

岡山県では過去5年間で約2千7百万円の保険料が支払われました。

ご契約のモデルケース（1haあたり）

樹種…ヒノキ 契約時林齢…1年
保険期間…5年 保険金額…最大188万円
一括払いだと 21,225円（5年間計）

樹種…ヒノキ 契約時林齢…26年
保険期間…5年 保険金額…最大299万円
一括払いだと 37,375円（5年間計）

1ヶ月あたり
約350円

わずかおむすび
3個分



1ヶ月あたり
約620円

わずかラーメン
1杯分



○保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。

○条件によって契約金額が変わってきます。

○お申し込み、お問い合わせはお近くの森林組合まで。



この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。（間伐材10%+古紙70%）

